

地域活性化を促進する事業に補助金を交付します！

～企業版ふるさと納税の寄附金を原資に事業費の最大100%を補助～

補助金の概要

- 泉佐野市の活性化や地域課題の解決を促進する事業を実施する事業者に対し、事業に必要な費用を補助します。補助金の額は、企業版ふるさと納税で寄附を募り、補助対象経費の範囲内で集まった寄附金の全額を交付します（例：対象事業への寄附が1,000万円集まった場合、その全額（1,000万円）を提案者に交付）。
- 事業費の最大100%を補助金として受け取ることができる利便性の高い補助金制度です。

企業版ふるさと納税とは

- 企業版ふるさと納税とは、地方創生につながる地方公共団体の事業に対して、企業が寄附をした場合、その寄附額の最大約9割が税軽減される仕組みです。（例：企業が100万円を寄附すると、最大約90万円（9割）の法人関係税が軽減され、企業の実質負担は最小1割の10万円）。
- 令和2年度の税制改正により、軽減効果が最大約9割（従前は最大約6割）まで引き上げられたことで、多くの企業がSDGsやCSR活動の一環として、本制度を活用した寄附をされています。

企業版ふるさと納税の
寄附額の全額を交付

事業費の
最大100%を補助！

事業イメージ①（イベント開催）

関西国際空港のある泉佐野市内で、サッカーの国際大会を開催したい。

大会開催に必要な費用300万円を本補助金で調達しよう。

（例）サッカー国際大会開催プロジェクト



300万円（開催費用）



ステップ1

実施内容をまとめて、市へ事業提案。市が事業内容を採用すれば、企業版ふるさと納税の寄附を募集。

ステップ2

企業版ふるさと納税による寄附が事業に必要な額に達すれば、補助金の交付が決定。

ステップ3

補助金を活用し、事業実施（国際大会を開催）。



事業イメージ②（映画制作）

泉佐野市をロケーションとした映画制作や動画制作をしたい。

制作に必要な費用1,500万円を本補助金で調達しよう。

（例）映画（動画）制作プロジェクト



1,500万円（制作費用）



ステップ1

実施内容をまとめて、市へ事業提案。市が事業内容を採用すれば、企業版ふるさと納税の寄附を募集。

ステップ2

企業版ふるさと納税による寄附が事業に必要な額に達すれば、補助金の交付が決定。

ステップ3

補助金活用し、事業実施（映画（動画）制作）。



主な制度内容

※詳細は必ず募集要領等をご覧ください。

対象者

- ◆ 泉佐野市の活性化や地域課題の解決につながる事業を実施する法人格を有する者。
- ※企業、NPO法人、社団法人、学校法人、社会福祉法人など幅広く対象とします(泉佐野市内外を問わず)。

補助金

- ◆ 企業版ふるさと納税による寄附が事業に必要な額に達した場合、寄附金の全額(10割)を交付。
- (例): 提案事業に1,000万円の寄附が集まった場合、その全額(1,000万円)を交付。

補助対象事業例

- 各種イベントの開催(スポーツイベント、コンサート、展示会、お祭りなど)
- 教室・講座(生涯学習、スポーツ教室、芸術教室など)の開催
- 泉佐野市をロケーションにした映画制作、動画制作
- 泉佐野市の農地を活用したスマート農業実証事業
- 観光DXによる観光地の創出に向けた実証事業
- 公共性の高い施設の開設・整備(こども食堂、多世代交流施設、外国人交流施設など)
- その他、市の活性化を促進する各種事業

募集要項等:

<https://www.city.izumisano.lg.jp/kakuka/seicyou/omotenasi/menu/kigyouban/13720.html>



スケジュール

提案書類 提出

随時受付
・事業提案書 ・事業提案計画書 ・概算事業費調書など

提案審査

書類提出後、選定委員会で審査
【審査項目】実現性/補完性/波及効果/妥当性など

結果通知

審査結果を通知

寄附募集開始

市ホームページ等にて寄附を募集。
※効果的に寄附を集めるには提案者自らが寄附を募ることも重要です。

補助金交付 申請・決定

寄附額が事業に必要な額に達した日以降に申請、交付決定

事業実施

交付決定後、事業を実施。



世界に羽ばたく国際都市

泉佐野市

成長戦略室 おもてなし課

TEL:072-447-8126

E-mail: omotenashi@city.izumisano.lg.jp